

ダイアボンド DA3146

ダイアボンドDA3146は、軟質塩化ビニルや靴のウレタンソールの接着に優れたポリウレタン系接着剤です。

§ 特長

1. 耐熱, 耐寒, 耐水, 耐薬品, 初期接着性に優れます。
2. 可塑剤移行がなく、耐油性に優れ、軟質塩化ビニルの接着に優れます。
3. 製靴用としては一液で使用でき、作業性に優れます。
4. ウレタンユニットソールなどウレタンに対する密着性に優れます。

§ 用途

1. 製靴用 離型剤付きウレタンソール (離型剤プライマーとしてダイアボンドDA1019Pを併用する)
離型剤除去済のウレタンソール (ダイアボンドDA3146で接着)
合成ゴム, 合成クレープ, TR (ダイアボンドHP112を併用)
2. その他工業用 軟質塩化ビニルシート相互や対プラスチックなどの接着

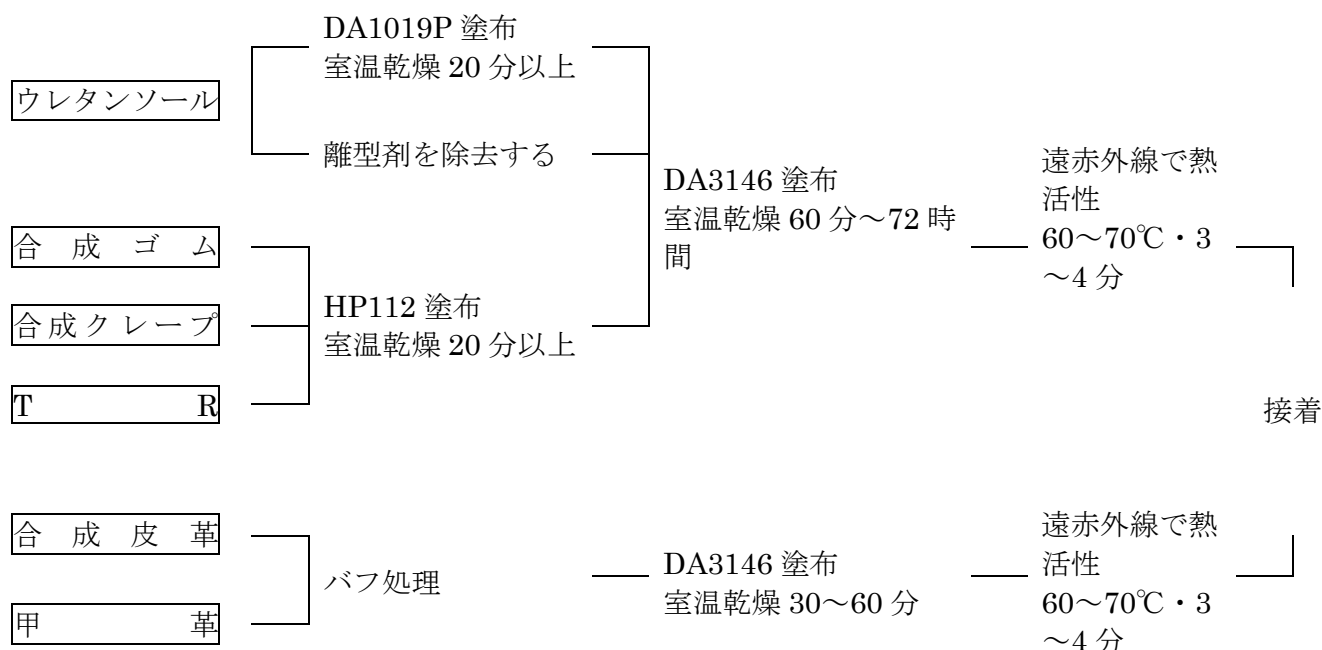
§ 一般性状

主成分	ポリウレタン
外観	淡黄色透明
不揮発分 (%)	20 ± 1
粘度 (mPa·s) at20°C	4,500 ~ 7,000
指触乾燥時間 (分) at20°C	3 ~ 5
粘着保持時間 (分) at20°C	7 ~ 10
保証期間 (月) at25°C	6
引火点 (°C)	-17
発火点 (°C)	480

製靴用

§ 使用方法

1. 前処理 被着材表面の水分やゴミ，油などを除去し、汚れのないよう清浄にします。
 2. 塗布方法 刷毛などで 20～25 g/1 足 塗布します。(皮革面に多目に塗布して下さい。)
 3. 乾燥 オープンタイム ソール面：60分～72時間 皮革面：30分～60分
(なるべくその日のうちに接着して下さい。)
- * プライマーを塗付する場合、乾燥時間は 20 分以上として下さい。
湿度が高い場合は、乾燥不十分になりますので、加熱による強制乾燥をして下さい。
4. はり合せ 乾燥後、遠赤外線 で 60～70 °C で 3～4 分間熱再活性化させてはり合せます。
 5. 加圧 はり合せ後、ただちに加圧します。
- ★ 新しい素材については、予備テストをするか当社にご相談下さい。



§ 接着性能

はく離接着強さ

(N/25mm)

	常態				熱老化	耐熱	耐水
	直後	24 時間	48 時間	96 時間	70 °C 96 時間	80 °C	20 °C 48 時間
足立ゴムウレタンソール / 皮革	25	100 *	100 *	103 *	115 *	26	100 *
大日ゴムウレタンソール / 皮革	25	103 *	102 *	103 *	110 *	26	101 *
日本ゴムウレタンソール / 皮革	25	100 *	104 *	102 *	120 *	26	102 *
東邦ゴムウレタンソール / 皮革	25	105 *	106 *	107 *	112 *	26	103 *
加藤産業ウレタンソール / 皮革	25	102 *	103 *	105 *	120 *	26	104 *

* : 皮革破壊

接着方法 オープンタイム：ソール，皮革とも 30 分 熱活性接着：70°C・3分
ソール面プライマーとしてダイアボンド DA1019P を使用 (加藤産業のみ使用せず)

試験方法 JIS K 6854 に準ずる

一 般 用

§ 使用方法

1. 前処理 被着材表面の水分やゴミ、油などを除去し、汚れのないよう清浄にします。
 2. 塗布方法 被着材の両方に接着剤を 150～250 g/m² 刷毛などで塗布します。
* 硬化剤を併用する場合は、所定の割合で十分に混合します。
硬化剤： ハードリオンRE, RFE 2～3部 (重量比)
 ディアボンドHL 5～10部 (重量比)
 3. はり合せ 接着剤塗布後、5～10分間乾燥してから、はり合せて接着します。
60～80℃で1～2分間加熱乾燥後、すぐはり合せると、より良好な接着性を示します。
 4. 加圧 はり合せ後、十分に加圧します。
- ★ 新しい素材については、予備テストをするか当社にご相談下さい。

§ 接着性能

はく離接着強さ

(N/25mm)

	硬化剤 (添加部数)	常態			熱老化	耐熱	耐水
		24時間	48時間	96時間	70℃ 96時間	80℃	20℃ 48時間
軟質塩化ビニルシート / 軟質塩化ビニルシート	0	76	95 *	100 *	100 *	25	90 *
	8	92	100 *	100 *	100 *	45 *	95 *
ポリエステル塗装板 / 綿帆布	8	60	62	64	95	45	65
軟質塩化ビニルシート / FRP	8	31	66	76	98	34	75
ウレタンフォーム / 鋼板	8	16 *	16 *	16 *	16 *	7 *	16 *

* : 材質破壊

接着方法 被着材の両方に塗布 塗布量：約 150 g/m² オープンタイム：10分

試験方法 JIS K 6854 に準ずる

§ 注意事項

- ・ 甲材や底材などの材料の中には、変色などの汚染を生じる場合が希にありますので、予めご確認下さい。
- ・ 接着剤は可燃性のため、作業場周辺での火気の取扱いは厳禁して下さい。
- ・ 接着剤を使用中は、換気に充分注意して下さい。
- ・ 使用後は、必ず密栓して冷暗所に保管して下さい。
- ・ 接着剤は低温下 (5℃以下) において結晶化することがありますので注意して下さい。
結晶した場合は、湯煎などでの加熱により元に戻ります。
- ・ 使用器具の洗浄には、酢酸エチルやメチルエチルケトンをご使用下さい。
- ・ 接着剤が皮膚などに付着した場合は、ただちに石鹸水で洗って下さい。

☆ 上記の接着性能データは、当社実験室で得られた値ですので、接着剤選定の目安としてご使用下さい。環境条件や作業条件などにより、得られる値も変化しますので、より正確な接着性能を求めたい場合は、それぞれの用途に合わせて確認試験されることをお勧めします。